Research Institute of Innovative Technology for the Earth

同時資料配布先:
経済産業記者会
学研都市記者クラブ

2016 年 10 月 21 日

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

革新的環境技術シンポジウム 2016
～エネルギー・環境技術のイノベーションによるゼロエミッション社会の構築～
開催のご案内

当機構の研究成果を広く関係の皆様にご紹介する「革新的環境技術シンポジウム 2016」を以下の通り開催致しますのでご案内申し上げます。

11 月 4 日にパリ協定が発効し、11 月 7 日から始まる COP22 に併せて、第1回パリ協定締約国会議（CMA1）が開催され、協定の具体的な実施ルールについて話し合われます。新たな国際的枠組みの下での温室効果ガス排出削減へ向けた取り組みが始まろうとしています。

このような中、今回のシンポジウムでは、招待講演として経済産業省の髙科淳審議官を迎え、最近の地球温暖化対策を巡る国際動向についてご講演いただく予定です。また、基調講演として、地球温暖化対策の長期的な目標である「CO_2 ゼロエミッション」について、当機構理事長の茅陽一より講演いたします。当機構の各研究グループ・センターからは最新の研究成果について講演するとともに、ポスターセッションでもご報告いたします。

1. 開催概要

主 催: 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構（RITE）

後 援: 経済産業省、公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 化学工学会、
公益社団法人 日本農芸化学会、一般社団法人 エネルギー・資源学会、
一般社団法人 日本エネルギー学会

日 時: 2016 年 12 月 7 日（水） 13:00－17:30（開場 12:30）
※ 12:30 よりポスターをご覧いただけます。

会 場: 東京大学 伊藤謝恩ホール（本郷キャンパス 赤門東隣り）

参加費: 無料

プログラム:

・ポスターセッション

・招待講演：最近の地球温暖化対策を巡る国際動向（仮）
経済産業省産業技術環境局審議官 髙科 淳（予定）

・基調講演：CO_2 ゼロエミッションへ向けて

RITE 理事長　　茅 陽一

・講演 1：複数の社会経済シナリオの下でのパリ協定長期目標の評価

システム研究グループリーダー　　秋元 圭吾

・講演 2：無機膜研究センターが目指すもの

無機膜研究センター長　　中尾 真一

・コーヒーブレイク・ポスターセッション

・講演 3：バイオリファイナリー社会の実現を目指したバイオ燃料・グリーン化学品生産

バイオ研究グループリーダー　　乾 将行

・講演 4：CCS の現状と今後の導入に向けた課題

企画調査グループリーダー　　都筑 秀明

・講演 5：CO_2 分離回収技術と RITE の開発状況について

化学研究グループリーダー　　中尾 真一

・講演 6：CO_2 大規模地中貯留の安全管理技術開発

－実用化を目指す技術研究組合の取り組み－

CO_2 貯留研究グループ主席研究員　　薛 自求

（詳細はパンフレットを参照願います。）

2.　参加登録

参加を希望される方は、RITE ウエブサイト http://www.rite.or.jp よりお申し込み下さい。

3.　プレス登録

取材を希望される報道関係者の方も、事前に参加申込み下さいますようお願いします。やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。

本件に関するお問合せ先：
（公財）地球環境産業技術研究機構
企画調査グループ　広報・産業連携チーム　中村、大西、辰巳
TEL：0774-75-2301　　FAX：0774-75-2314

革新的環境技術シンポジウム 2016

RITE
Research Institute of Innovative Technology for the Earth

～エネルギー・環境技術のイノベーションによるゼロエミッション社会の構築～

2016年12月7日(水) 13:00～17:30(受付開始 12:30)

伊藤謝恩ホール(東京大学) 入場無料

主催：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構
後援：経済産業省、公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 化学工学会、公益社団法人 日本農芸化学会、
一般社団法人 エネルギー・資源学会、一般社団法人 日本エネルギー学会

SCOPE

昨年のCOP21にて採択された「パリ協定」は、世界のGHG排出量の55%以上を占める55カ国以上が批准するという要件を満たし、11月4日に発効することとなりました。11月7日から始まるCOP22では、併せて第1回パリ協定締約国会議(CMA1)が開催され、協定の具体的な実施ルールについて話し合われることになっています。

パリ協定では、世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃未満に抑えるとともに1.5℃に抑えるよう努力すること、今世紀後半にGHG実質排出量ゼロを目指すことが目標として掲げられており、これらの実現のためには革新的な技術の導入、普及を図って行く必要があります。

当機構は設立以来、地球温暖化対策に資する革新的なエネルギー・環境技術の研究開発を推進するとともに、地球温暖化対策シナリオを作成して政策提言につなげてきました。本年4月には、二酸化炭素地中貯留技術研究組合、無機膜研究センターを設立し、技術の実用化に向けた取り組みにも力を入れています。本シンポジウムでは、最近の地球温暖化対策を巡る内外の動向を踏まえながら、当機構の最新の研究成果についてご報告します。

PROGRAM

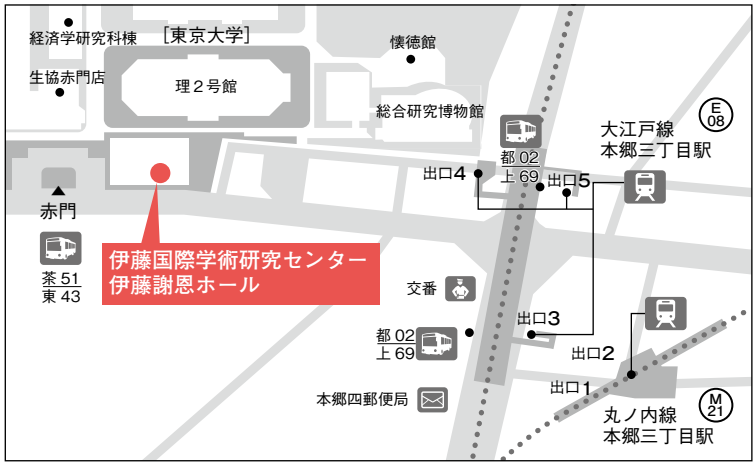
12:30 ～	受付	
12:30 ～ 13:00	ポスターセッション	
13:00 ～ 13:05	開会挨拶	研究所長　**山地 憲治**
13:05 ～ 13:30	招待講演	**最近の地球温暖化対策を巡る国際動向（予定）** 経済産業省産業技術環境局審議官　**髙科 淳**
13:30 ～ 13:55	基調講演	**CO_2ゼロエミッションへ向けて** 理事長　**茅 陽一**
13:55 ～ 14:30	講　演 1	**複数の社会経済シナリオの下でのパリ協定長期目標の評価** システム研究グループリーダー　**秋元 圭吾**
14:30 ～ 14:50	講　演 2	**無機膜研究センターが目指すもの** 無機膜研究センター長　**中尾 真一**
14:50 ～ 15:20	コーヒーブレイク・ポスターセッション	
15:20 ～ 15:55	講　演 3	**バイオリファイナリー社会の実現を目指したバイオ燃料・グリーン化学品生産** バイオ研究グループリーダー　**乾 将行**
15:55 ～ 16:15	講　演 4	**CCS の現状と今後の導入に向けた課題** 理事・企画調査グループリーダー　**都筑 秀明**
16:15 ～ 16:50	講　演 5	**CO_2分離回収技術と RITE の開発状況について** 化学研究グループリーダー　**中尾 真一**
16:50 ～ 17:25	講　演 6	**CO_2大規模地中貯留の安全管理技術開発** **ー実用化を目指す技術研究組合の取り組みー** CO_2 貯留研究グループ主席研究員　**薛 自求**
17:25 ～ 17:30	閉会挨拶	専務理事　**本庄 孝志**

ACCESS

東京大学 本郷キャンパス

伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール 地下 2F

- 東京メトロ丸の内線「本郷三丁目駅」より徒歩 8 分
- 都営地下鉄大江戸線「本郷三丁目駅」より徒歩 6 分



REGISTRATION

RITE ウェブサイト
http://www.rite.or.jp よりお申し込みください。

公益財団法人 **地球環境産業技術研究機構**　http://www.rite.or.jp

〒619-0292 京都府木津川市木津川台 9-2　TEL：0774-75-2301　FAX: 0774-75-2314　E-mail: kaku2016@rite.or.jp